

苦楽を分かち合う、信頼される区政へ！

区長、議員、選管の雇い主は、あなたです 無所属●34歳

1歩ずつ着実に・・・

いたばしがき通信 第4号 Ver.2(2011年4月) しがき伸也と元気な板橋を作る会

連絡先 090-1965-6179 F A X : 03-3975-7083 板橋区成増1-8-17-303

ホームページ : <http://shigakishinya.jp> / Eメール : [shigakishinya@gmail.com](mailto:shigakishinya@gmail.com)

高すぎる議員報酬だけじゃない！

原発に頼らない暮らしを！  
子どもたちの未来のために

こんなこと  
絶対おかしい！

しがらみのない〈無所属〉だから言えます

しがき伸也



選挙管理委員会

驚くべきことに  
日当6万円  
時給4万円

(東京都の最低賃金は時給821円)

●年50日で300万以上

選管の委員は4名。年間の出勤日数は少なく40~50日。それで月収は25~31万円、年収は310~390万円。日割りで計算しても日当6~8万円です。

しかも年24回の定例会議は、1~2時間程度。時給に換算す

れば4万円にもなります。

●天下り？

選挙管理委員会の委員は元議員がほとんど。これは「天下り」ではないでしょうか。

新宿区は昨年から日額制に変更。大阪高裁でも日額制が妥当の判決が出ています。板橋区も日額制へ。

区長の退職金

わずか4年で  
2050万円  
4年間の総収入は  
1億円以上

●公務員は40年で2600万円

公務員の退職金は約40年の勤務で2600万円。民間よりも高く、フリーターや契約社

員など非正規雇用の人にとっては夢のような金額です。

しかし区長は、もっと高額です。たった1期4年で約2050万円もの退職金が支払われます。2期なら約4100万円、3期なら約6150万円も税金から支払われるのです。

そもそも区長の年収は約2100万円、4年間で総額1億を超える収入は、いくらなんでも、多すぎます。

※年収2500万円を超える人は、民間では、わずか0.2%しかいません

東北関東大震災を踏まえて

緊急提言

「想定外」では  
すまされない

板橋区の防災計画

総点検！

議員の交通費

1日の交通費  
4000円  
46人で1000万円

区議会議員の1000万円の報酬については、前号で高すぎることを指摘し、2割の削減(1000万円→800万円)を提案しました。

ところが議員にはその他に、議会に出席するごとに4000円が、交通費(費用弁償)として支給されます。年

間で1人あたり50日程度、約20万円にもなります。46人で年間約1000万円が税金から支給されます。

費用弁償というのは、議員が名誉職で無償だった時代に支給されていたもので、古い制度です。このようなムダ使いはキッパリと廃止すべきです。

ムダを削減、公共サービス拡充へ→裏へ

# ムダ削減で、こんなことができる！

これらの削減だけで

議員報酬 2割カット

200万円×46人  
9200万円

選管の日額制の導入

日額4万×50日×4人  
800万円

区長の退職金を削減

2050万円を4分の1へ  
1500万円

費用弁償の廃止

1000万円

削減総額は！  
1億2500万円



しがきの提案

私の概算では、1億2500万円の予算内で、下記の4つの公共サービスのうち1つが拡充できます。

## ①保育ママの拡充

待機児童130人解消

現在保育ママは、子ども1人あたり月7万円、年間84万円の経費です。保育室開設のための基盤経費も含めて130人を解消。

## ②高齢者見守りサービス

声かけ訪問サービスで  
5500人の見守り

江東区では声かけ訪問サービス(乳酸菌飲料無料配達)を行っています。1人あたり年間18700円の経費。板橋区の「見守りネットワーク」登録者5500人への配布が、約1億円で実現できます。

## ③障がい者の「社会的雇用」

障がい者60人の雇用創出

箕面市(大阪府)では、障がい者の社会的雇用事業を行っています。同様の試算では60人の障がい者の雇用が創出できます。

## ④区報・議会報告

30万全戸へ情報提供  
10万世帯の情報格差の解消

現在、新聞をとっていない10万世帯には区報と「議会だより」が配布されていません。ポスティング業者で計算すると区報は、3120万円、議会だよりは400万円。総計3520万円で実現します。

## しがき伸也 プロフィール

- 1976年 兵庫県尼崎市生まれ。
- 2000年 関西学院大学総合政策学部卒業  
在学中は、ダウン症や筋ジストロフィーなど障がいを持った方々の自立生活支援活動や、フィリピンで劣悪な住環境におかれている家族への住宅建設支援活動に取り組みました。
- 2000年 「国際協力NGO21世紀協会」のインターンとしてフィリピン・ミンドロ島に3年滞在。  
山奥に住む先住民族マンニャン族の子ども達の日常生活支援および教育支援活動に携わりました。
- 2004年 青年海外協力隊として西アフリカ・セネガルに2年滞在。  
マングローブ植林、識字教室、健康管理活動(指圧指導など)を参加型で行い、住民の生活向上支援に携わりました。
- 2006年 NPOフィリピン日系人リーガルサポートセンターに就職(2010年8月退職)。  
フィリピンと板橋区を往復しながら、第2次世界大戦後、フィリピンに残された日本人移民の子孫の身元捜し及び国籍確認支援活動に携わりました。
- 2010年 エコでピースな地球の未来、脱原発を政治でめざす、『みどりの未来』会員になる
- 2011年夏頃 第1子が板橋区で誕生予定。



指圧は隣村からも来るほどの人気

## 海外派遣のNGOで学んだこと

大切なのは「助け合い」「分かち合い」「話し合い」

私がフィリピンやセネガルの田舎で出会った人々の多くは、経済的には皆貧しくとも、助け合い、分かち合い、みんなで話し合っって心豊かな人生、幸せな生活を求め、それらを手に入っていました。今の日本はどうでしょうか。経済格差、情報格差が生み出す無縁社会の拡大により、豊かな人生、幸せな生活を得ることが、どんどん難しくなっているように感じます。

板橋区も約2.5日に1人が自殺し(08年は132名、07年は156名の自殺者)、孤独死もあとをたたく、うつなどの心の病も年々増加しています。このままではいけない。負の連鎖を止め、すべての区民が幸せを感じて生活できる板橋区へ「助け合い」「分かち合い」「話し合い」をモットーに頑張ります。



がんばれ紫垣くん!

1歩ずつ着実に……

- 今泉 信宏(元関西学院大学総合政策学部大学院指導教授)
- 高野 敏子(NPO法人フィリピン日系人リーガルサポートセンター事務局長)
- 池田 晶子(NPO法人21世紀協会理事長)
- 原みゆき(元青年海外協力隊員、セネガル派遣・放射線技師)
- 小宮 勇介(農業手伝い)
- 河合弘之(弁護士)
- 須貝郁子(埼玉県・和光市議)
- 漢人あきこ(東京都・小金井市議)

カンパ募集中

ゆうちょ銀行口座【記号・番号】10020・4・1676621  
【口座名称】しがき伸也と元気な板橋を作る会  
\*一般金融機関から「ゆうちょ銀行」へのお振り込みの場合【口座種別】普通預金 【店名】〇〇八(せとせ)【口座番号】4167662